

コード No. 28133

**Anti-Human
APP770 (351) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : アルツハイマー病は、最も代表的な老人性認知症疾患で、脳実質に Amyloid β (A β)が蓄積することが発症の主たる原因と考えられています。一方で、9 割近いアルツハイマー病患者では脳血管壁にも A β が蓄積することが確認されています。A β は、Amyloid Precursor Protein (APP) が2種類のプロテアーゼで切断されて生じることが分かっており、脳実質に蓄積する A β は、主にニューロンに発現する APP (APP695) から生じると考えられています。これに対し脳血管内皮細胞にはニューロンと異なる APP (APP770) が発現していることが発見され、この APP770 から産生された A β が脳血管壁に蓄積し得ることが報告されています (文献 1)。

本抗体は APP770 を特異的に認識します。

免疫抗原 : Human APP770 の部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色および免疫蛍光染色 1~5 µg/mL にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定、パラフィン切片 : 脳組織の場合はギ酸処理*を推奨

*ギ酸処理 : 脱パラフィン後、ギ酸に 5~30 分浸漬した後流水洗浄)

: ウェスタン・ブロッティング約 2 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Kitazume S, Tachida Y, Kato M, Yamaguchi Y, Honda T, Hashimoto Y, Wada Y, Saito T, Iwata N, Saido T, Taniguchi N Brain endothelial cells produce amyloid β from amyloid precursor protein 770 and preferentially secrete the O-glycosylated form. J Biol Chem. 2010 Dec 17;285(51):40097-103.

本製品は、独立行政法人理化学研究所  の特許(特願 2010-171122)の実施許諾を受けています。